

R.I. District2610 . ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ 会報誌

2010 - 2011 年度 R 会長 レイ・クリンギンスミス
2010---2011 年度 魚津 R.C 会長 宮本 汎



第 2761 回 新春合同夜間例会報告

2011 年 1 月 14 日

(於 : ホテルサンルート)

ゲストならびにビジター紹介 ゲスト : 魚津市長 澤崎義敬 様

誕生祝 本日はありません

会長挨拶 みなさん改めまして、おめでとうございます。今年は雪はまだ少ないですがインフルエンザが流行っていますので気をつけて下さい。市長は 7 年目を迎えられる課題が多いと思いますが、その中でも「労災病院」の問題や新幹線開通後の交通網など、後ほどのお話して出てくると思いますので、みなさんから質問していただきたいと思います。それでは本日はゆっくりと楽しんで下さい。



幹事報告 本日はありません

出席報告 本日の出席者 27 名 出席率 81.81% 欠席者 6 名
メイクアップ済み 小浜さん 吉森さん
2759 回メイクアップ なし
2759 回修正出席率 88.23% 88.23%

ニコニコボックス 野澤幹事 あと半年幹事、よろしく願いいたします。

本日の卓話 魚津市長 澤崎義敬 様

あらためまして、新年あけましておめでとうございます。私は市長になりまもなく満 7 年が経とうとしています。(市長になった)平成 16 年は日本が大きく舵を切ろうとして小泉政権が三位一体改革を断行しようとしていました。これから道州制や市町村合併がどんどん進み、日本が変わろうとしていました。行政や地方のあり方が変わる、と言われていました。その中で我々地方がどのように対応しなければならないかと考え、グローバルとローカルというものを議会と一緒に「市民のための議論の場」を持たなければならないと思いました。



新幹線時代になると地方から都会へ人が流れるのではないかと、少子化や高齢化が進むのではないかと危惧していました。地方においては「地域の活性化」が叫ばれていますが、それぞれの地域が持っている歴史・文化・人脈?などをしっかりとさせることが地域活性化の原点であると思います。伝統ある地域資源をしっかりと意識する必要があります。おかげさまで、なんでも市にお願いしてもできないだろう、という理解ができました。魚津では各地区に地域振興会を作ってもらっています。それぞれの地域のあり方を考えてもらっています。

魚津市の課題はみなさんよくご存知だろうと思いますが、魚津市なりにできることを考えています。魚津市役所ほど、事業仕分けと言うか施策の徹底的な見直しや活発な意見を出しているところはない、と思っています。徹底的に施策評価を行いました。市民の要望の中でも優先度や見直しも行き、市長就任当事は180億円あった予算が今は150億円くらいに減っています。税込減や補助金が減ったことも原因ですが、埋蔵金があるわけではないので、自分たちで工夫し少ない予算で最大の効果をあげることを考えています。

高齢化社会に向けた施策や子育て 教育などは5年や10年続くのが普通ですが、今の政権では1年や2年で変わってしまうので、地方の我々も政権交替についていけないというのが本音です。マニフェストの呪縛から逃れられない、何が何でもやるんだということですが、そこは素直に「間違っていた、埋蔵金がなかった」と言えないものかという局面がよくあります。

高齢化が進む中、魚津市民が安心して医療を受けられることや教育環境をどうするかという課題について対応することが大事です。また、若い人たちがこの地に住み雇用されることが必要です。いずれにしても魚津市民のみなさんが「我々は誇れる生活環境の中にいるんだ」と思ってもらえるようなところになりたいと思います。

懇親会

